

第6次総合計画

基本理念 < まちの目指す像 >

- ・健康に暮らせる福祉のまち、心豊かな人を育む学びのまちを創ります。
- ・自然や文化等の地域特性を守り育て、佐世保の個性と魅力を磨きます。
- ・快適で安定した生活を支える都市機能と新たな活力を生む産業基盤を整えます。

将来像

キャッチフレーズ

ひと・まち育む“キラっ都”佐世保

行政像 < 行政が目指す像 >

市民とともに歩み、変革し続ける行政

目標とすべき社会の状態

人口目標：25万人程度を維持

基本目標 < 望まれる姿 >

- 例) ・健康で安心して暮らせる福祉のまち
・安全な生活を守るまち

基本計画 < 行政の政策・施策 >

政策

施策

< 行政として目指す姿 >

< 行政の具体的な方向性 >

次期総合計画

2ページ 基本理念 < 市全体で共有する心構え >

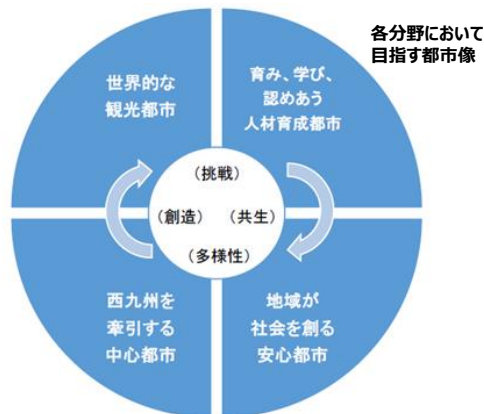
- ・支え合い、郷土愛、共感を育む「共生」の精神を持ちます。
- ・本市の大きな特徴とも言える「多様性」を大切にします。
- ・変化・継続、いずれの時も、常に高いクオリティと新たな価値を求め「創造」します。
- ・選択と集中、変革、発展を推し進めるため「挑戦」します。

2~4ページ 将来像

キャッチフレーズ

検討中

都市像 < 官民一体のまちづくり >



目標とすべき社会の状態

- 人口ビジョンの目標：23万人程度を維持
市民所得：234万円以上
< 目指す社会の状態 >
例) 市内総生産（1次、2次、3次）の増加
健康寿命を伸ばします

4~8ページ 基本目標 < 施策(行政)の方向性 >

- ① 共通概念 (全体の方向に影響を与える考え方)
例) コンパクト+ネットワークによる都市形成
- ② 分野別方向性 (都市像(分野別)ごとの方向性)
例) コンパクト+ネットワークによる都市形成

基本計画 < 行政の政策・施策 >

政策

施策

< 社会の状態をどう好転させるか >

< 行政の具体的な方向性 >

移行

移行

移行

次期佐世保市総合計画

基本構想（中間素案）

< 目 次 >

第1章 基本理念	2
第2章 将来像	2
(1) 佐世保市の将来のイメージ.....	2
(2) 各分野において目指す都市像.....	3
(3) 目標とすべき社会の状態.....	3
第3章 基本目標	4
(1) 共通概念.....	4
(2) まちづくりの方向性.....	4

第1章 基本理念

本市のまちづくりは、常にひと（市民）が中心です。

また、すべての市民が健康で、幸せを実感しながら暮らせる社会を構築し、持続していくことが前提となります。

しかし、今後訪れる人口減少社会は、これまで世の中が体験したことがないもので、労働者や様々な担い手が不足することで、社会全体の生産力、消費や社会負担に大きな影響があることが想定されます。

これをまちづくりに置き換えて対応策を考えると、広く社会参加を促し担い手を確保すること、また、負担増に対応するため大胆で先進的な検討を行う必要があると言え、これによって目指すものは「共生」社会を前提とし、「多様性」という強みをいかして「創造」「挑戦」することではないかと考えられます。

そこで、このような社会下でも持続可能で幸せな社会を実現するため、市全体（市民、企業等、行政）で共有すべき心構えとして、以下の4つを基本理念とします。

《基本理念》

- 支え合い、郷土愛、共感を育む「共生」の精神を持ちます。(Symbiosis)
- 本市の大きな特徴とも言える「多様性」を大切にします。(Diversity)
- 変化・継続、いずれの時も、常に高いクオリティと新たな価値を求め「創造」します。
(Creation)
- 選択と集中、変革、発展を推し進めるため、「挑戦」します。(Challenge)

第2章 将来像

(1) 佐世保市の将来のイメージ

“キラっ都” 佐世保
～自然とともに市民の元気で輝くまち～

.....

(2) 各分野において目指す都市像

人口減少局面において、本市が目指すべき都市像をわかりやすく提示するため、一定の共通認識が必要な政策ごとのまとめとし、分野によっては規模感もイメージできる具体性のある都市像として表しております。

《都市像》

●世界的な観光都市

経済の分野において、将来の成長が見込め、本市を牽引する潜在力を有することを表す都市像

●育み、学び、認めあう、人材育成都市

人材の分野において、学力、体力、豊かな心、共感力等の育成に力を入れて取り組むことを重視する都市像

●地域が社会を創る安心都市

市民生活の分野においては、政策横断的の一体性が重要で、従前とは異なる発想で地域づくりを行うことを表す都市像

●西九州を牽引する中心都市

都市基盤の分野においては、国土形成計画で示されたコンパクト+ネットワークの概念である「西九州させば広域都市圏」の人口規模に応じ、都市機能やインフラ、居住区域等が一定の密度を保ちつつ最適化を図ることを目指す都市像

(3) 目標とすべき社会の状態

①堅持すべき目標：2030年

- ・人口：人口ビジョンの目標 23万人
- ・市民所得：234万円以上（2014年）

②社会の状態の好転を目指すターゲット

人口規模のみならず、生活の質の維持・向上に必要な要素にも着目。
社会の状態のうち、どの部分を良くするのか具体的なターゲットを明示します。

- 市内総生産（1次、2次、3次）を増加させます。
- 健康寿命を延ばします。
- 合計特殊出生率を向上させます。
- その他

第3章 基本目標

（1）共通概念

行政の方向性を示すにあたって、政策・施策全体の方向に影響を与える考え方です。

- 生産性（付加価値）向上・効率化
（増大する社会負担に対応するための、必須の概念）
- 公共領域における官民協働の標準化
（不足する担い手及び財源の対策として、必須の概念）
- コンパクト+ネットワークによる都市形成
（都市の無秩序な拡大による弊害を抑制するための、必須の概念）

（2）まちづくりの方向性

共通概念を踏まえた上で、今後10年間を見据え、特出して取り組む方向性を分野ごとに提示します。

※法定されていること等、裁量のない取組みは提示しておりません。

①経済（しごと）

（市内総生産の向上）

事業所の経営改善や事業承継を図るとともに、世代交代を含む新陳代謝の促進を支援します。

（新たなビジネスモデルの創出）

ロボットやIoT【モノのインターネット】やAI【人工知能】などの新たなイノベーション【技術革新】やアウトソーシング【外注化】などを通して新たなビジネスモデルを創出できるよう積極的に支援します。

（労働力の確保）

担い手不足への対応は、若者の定着と、高齢者、女性など多様な人材が活躍できる環境を主眼としながら、地場企業の採用力向上を支援します。

(若年労働力の確保)

企業と求職者のニーズを的確にとらえ、マッチングを図ることで、多様な人材の地元への定着を促進します。

(多様な就労の場の創出)

製造業やオフィス系企業等の誘致による多様な就労の場と大規模な雇用を確保します。

(技術力の向上)

生産性向上のため、技術力・競争力を強化する取組みに注力します。

(技術力の継承)

ものづくり企業における技能承継とスキルアップ【**技能向上**】、経営力強化のための研修会等を通じて人材育成を支援します。

(付加価値の向上)

サービス産業の生産性向上へ向けた高付加価値化・差別化を促進します。

(魅力ある商業基盤の形成)

多様化する消費者ニーズに対応できる魅力ある個店の集積形成を目指し、域内需要の確保と、観光需要、ECなど域外需要の取り込みに対する支援を強化します。

(国際規模の観光振興)

統合型リゾート（IR）の誘致、九十九島（湾クラブ）、日本遺産、世界遺産など多様な地域資源の活用により、国際的な観光都市を目指します。

(担い手の確保)

農業経営の法人化、新規就農者の参入、集落営農の推進により担い手を確保します。

(生産性の向上)

I o Tの活用、生産基盤の整備、工場化等により生産性を高める取組みを推進します。

(収益性の向上)

品質の向上によるブランド化とプロモーション【**販促活動**】による差別化及び経営の多角化により、収益性を高める取組みを推進します。

(地域資源の維持)

地域の共同活動に係る支援により多面的機能を有する農山村の地域資源を維持・継承します。

(付加価値の向上)

水産物の加工、海外輸出等、漁業経営の多角化に対する取組みを推進します。

(水産資源の維持)

水産センター機能強化による収益性の高い種苗の開発と生産性を高める漁場環境の改善に努めます。

②人材 (ひと)

(学力及び体力の向上)

客観的データの活用・分析をもとに指導改善と学習環境の整備に努めます。

(新たな教育のニーズ)

グローバル【**世界規模の**】社会に対応するため、地域特性を活かした英語教育、またICT【**情報通信技術**】への早期順応を図り、必要なアイデンティティ【**自己同一性**】の確立をめざすとともに、郷土愛を醸成する取組みを推進する

(豊かな心を育む)

他人を思いやり、生命を尊重、感動する心、正義感や公正さを重んじることで、豊かな人間性と社会性を育むための教育を行います。

(地域との連携)

地域等との協力体制を確立し、教育の質の向上させることを目指します。

(生涯学習環境の充実)

多様な主体によって生涯学習の情報の機会・場が提供され、市民自らが学び続けられる環境の充実を図ります。

(ライフデザイン構築支援)

ライフデザイン【**生活設計**】構築のための支援として、妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識を広報します。

(多様で質の高い子育て支援)

地域のニーズや国の動向等に対応した多様な事業展開とともに、地域全体で出産・子育ての希望をかなえられるようサポートする環境づくりの実現に資する質の高い子育て支援を目指します。

③市民生活 (くらし)

(健康寿命の延伸)

市民の主体的な健康づくりの推進に向け、民間と連携して情報発信や機会提供を充実させるとともに、健康づくりの動機付けとなるインセンティブ【**動機付け**】を導入し地域活性化を目

指します。

(広域的な危機管理体制)

健康危機管理機能は県との役割分担を整理し、県等の関係機関と連携し、広域的な危機管理体制の強化に取り組みます。

(包括的取組みによる地域福祉)

地域共生社会実現に向け、地域福祉の充実を図るため、地域包括ケアシステムについて地域で実践します。

(ICTの活用)

病院間や地域介護等の効率的な連携や担い手不足解消のため、ICTの活用を積極的に検討します。

(医師の確保)

県との役割分担の中で、医師を確保することにより、地域医療レベルを維持します。

(動機付けの仕組みづくり)

結婚を促すために、商業ベースとの活動と連携や、動機が高まる（インセンティブ付与）仕組みづくりを検討します。

(住民主導の地域づくり)

住み慣れた地域で誰もがいつまでも安心して暮らせる地域社会の形成に向け、自らの手による地域づくり意識を醸成します。

(担い手の育成)

将来的な公共領域の担い手として期待される、地区自治協議会の運営能力の向上に対する支援に取り組みます。

(地域体制の補完)

様々な社会貢献活動を行うNPO【**非営利団体**】を支援し、地縁型コミュニティ【**共同体**】の機能を補完する仕組みづくりを行います。

(移住の促進)

県外からの移住ならびに若者の定住を促進することで、地域の活性化を図ります。

④都市基盤（まち）

(持続可能な都市の形成)

都市機能や居住地域を誘導しながら、核となる拠点を形成し、拠点間を交通網で効率的につなぎ、コンパクトでネットワーク化された都市を目指します。

(都市基盤の整備推進)

本市の最重点課題に位置付けられた、未整備の都市基盤に関しては、引き続き早期整備を目指します。

(優先度の明確化)

公共インフラについては、市民生活や経済活動を支えるという観点に基づき、優先度を明確にしたうえで、整備・維持するものを選択します。